

大阪薬科大学 第12回公開シンポジウム

がんの遺伝情報を用いた予知と患者の容態からの判断による、最適な薬物療法に向けて

日時 **2017年 2月19日(日)** 13:00~17:30 (12:30開場)

場所 **大阪薬科大学D棟 D302講義室**

対象 病院薬剤師および薬局薬剤師の先生方、がん医療に関わる方、学生。
一般の方の御参加も歓迎いたします。

入場無料
申込不要

プログラム

司会・進行：天野 富美夫 (大阪薬科大学 がんプロ事業推進責任者)

13:00 開会の挨拶

学長挨拶

大阪薬科大学 学長 政田 幹夫

13:05 本シンポジウムの趣旨と概要

大阪薬科大学 生体防御学研究室 教授 天野 富美夫

座長 井尻 好雄 (大阪薬科大学 循環病態治療学研究室 准教授)

13:10 がん医療を変えるPrecision Medicineとその方向性

神戸市立医療センター神戸中央市民病院 院長補佐・薬剤部長 橋田 亨

13:55 肺がんの診断・治療における個別化医療と分子標的薬

大阪医科大学附属病院 臨床研究センター センター長、呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科 科長 藤阪 保仁

14:35 休憩(15分)

座長 天野富美夫 (大阪薬科大学 生体防御学研究室 教授)

14:50 大腸がんの診断・治療における個別化医療と分子標的薬

京都府立医科大学 消化器外科 学内講師 栗生 宜明

15:35 化学療法における副作用の早期発見と対処における薬剤師の役割

大阪薬科大学 循環病態治療学研究室 准教授 井尻 好雄

16:20 化学療法における治療方針の決定後における患者の看護と支援

大阪大学医学部附属病院 看護部 がん専門薬剤師 田墨 恵子

司会 天野 富美夫 (大阪薬科大学 生体防御学研究室 教授)

17:05 総合討論とまとめ **がんの遺伝情報の解明が進む時代に、最良のがん治療に向けて、薬剤師ができること、求められること**

17:25 閉会の挨拶

※終了後、希望者には日本薬剤師研修センターの受講シール(2単位)を付与します。



大阪薬科大学

Osaka University of Pharmaceutical Sciences

〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4丁目20番1号
TEL: 072-690-1000(代) FAX: 072-690-1005(代)
URL: <http://www.oups.ac.jp>

共催: 日本薬学会近畿支部・神戸薬科大学

JR「摂津富田」駅又は阪急京都線「富田」駅下車後高槻市営バス「JR富田」より4番乗場で「大阪薬科大学」行又は「公園阿武山」行で「大阪薬科大学」下車すぐ。
所要時間約15分

